

～理念を保障する より実践に近い契約形態へ～

協働の 新たなステージ



内閣府を中心に『「新しい公共」推進会議』や「新しい公共支援事業」など国の方でもさまざまな動きが出てきています。民に向けては寄付税制緩和などの具体的な動きも出てきて、市民活動の後ろ盾が少しずつ力強いものになってきています。

しかし、協働事業が全国各地に広がりを持ってきた一方、財政難や環境変化で協働性が失われていく現状も増えてきています。

私たち「新しい協働を考える会」では、横浜における子育て支援事業を事例に、本来の市民自治を永続的に約束していくツールの一つとして、その契約形態にこだわり続け、この3年間研究を続けてきました。協働を語るステージも理念的に掲げてきた協働から実質的に明文化、システム化していく第2ステージに入ってきたと捉えています。

全国に先立って横浜コード(協働の6原則)を策定した堀田氏から、この時代の推移と策定当時の課題や展望を語っていただいた後、研究成果も踏まえながらパネルディスカッションを予定しています。

- ◆第1部◆ 基調講演 15:00～16:00
堀田力氏 (公財)さわやか福祉財団理事長・弁護士
- ◆第2部◆ シンポジウム 16:15～18:00
シンポジスト
NPO法人くびき野NPOサポートセンター理事長 秋山三枝子氏
神奈川大学法学部教授 三浦大介氏
NPO法人びーのびーの事務局長 原美紀
コーディネーター:(株)地域計画研究所代表 内海宏氏
- ◆第3部◆ 交流会 18:30～20:00

開催日 平成23年2月18日(金)

場 所 横浜市社会福祉センター4Fホール(横浜市健康福祉総合センター内)
交流会会場 同センター内10F「ふれあいショップ&レストラン H×3 桜木町店」

受付 14:30より

参加費 基調講演&シンポジウム 無料
交流会 1000円(当日お支払いください)

お申し込み お名前、連絡先、所属、交流会参加の有無を明記の上、

メール m01-yokota@sakurazaurusu.jp

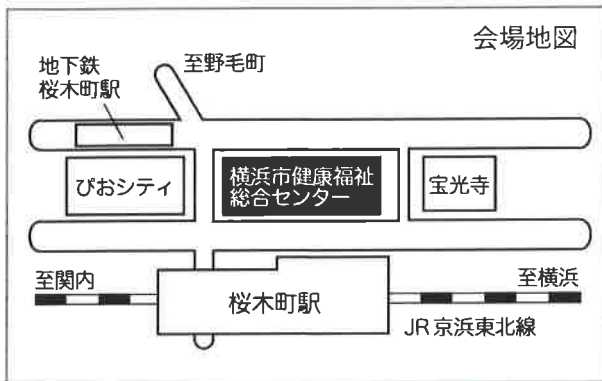
又は、裏面申し込み書をFAX 045-711-2665にてお申し込みください。

堀田力(ほったつとむ)氏 略歴(抜粋)

昭和9年4月12日 京都府生
 33年3月 京大法学部卒業
 36年4月 検事任官(札幌・旭川・大津各地検に順次勤務)
 40年4月 大阪地検検事(41年4月~特捜部入り、大阪タクシー汚職事件摘発)
 51年4月 東京地検特捜部検事(ロッキード事件担当)
 平成2年6月 法務大臣官房長
 3年11月 退職、弁護士登録、さわか法律事務所及びさわか福祉推進センター
 (7年4月財団法人さわか福祉財団となり、22年4月に公益財団法人化)開設

8年2月~9年12月
 中央児童福祉審議会委員・厚生省(児童側の選択権を認める制度改革を主張)
 8年9月~現在
 介護の社会化を進める1万人市民委員会代表(市民による介護保険制度の修正)
 8年11月~13年1月
 中央社会福祉審議会委員・厚生省(利用者の選択権を認める社会福祉制度改革を主張)
 10年10月~現在
 高齢者年NGO連絡協議会(現 高齢社会NGO連携協議会)代表
 11年5月~13年4月
 国民生活審議会委員・経企庁(現行NPO法制度の基本的仕組みを決定)
 12年1月~12年10月
 社会保障構造の在り方について考える有識者会議委員・内閣府
 12年9月~15年9月
 政府税制調査会委員(NPO支援税制の採用・拡大を主張)
 13年6月~17年5月
 神奈川県ボランティア活動推進基金審査会会長(県とNGO・NPOの協働を推進)
 15年3月~15年6月
 高齢者介護研究会座長・厚労省(尊敬を支えるケアをめざすと宣言)
 15年7月~17年7月
 社会保障審議会福祉部会委員・厚労省
 16年1月~現在
 民間法制・税制調査会座長・さわか福祉財団、公益法人協会
 20年5月~現在
 「東京都の地域ケアを推進する会議」委員長・東京都

著書(抜粋)
 「否認」「壁を破って進め」「少年魂」(講談社文庫)
 「おごるな上司!」(日経ビジネス人文庫)
 「心の復活」(PHP研究所)
 「生きがい大国」(日本経済新聞社) 他多数



FAX : 045-711-2665

新しい協働を考える会

「新しい協働を考える会」は、近年公的サービスにおける事業手法として注目されている「協働」事業を行うに当たり、自治体等の行政機関とNPO等の市民活動団体との関係性を約束する「契約」というものに注目することからスタートした研究会です。

自立的な市民意運営につながる契約手法および事業者への評価、選考のあり方を検証し現代の社会的課題に向けて、新たな視点、当事者視点で取り組める連携の仕組みづくりをめざしています。

【活動略歴】

- 平成20年7月
 横浜市都市経営局「政策の創造と協働のための横浜会議」に採択され「対等なパートナーシップに基づく「協働契約」のあり方の研究」をテーマに「協働契約のありかたを考える研究会」として研究組織をスタート。翌年3月には、契約モデルと評価システム、選考の仕組み等について提言。
- 平成21年7月
 提言内容の概要版リーフレットを作成 ※(1)
- 平成21年10月
 横浜市開港記念会館にて最終報告フォーラムを自主的に開催『対等なパートナーシップに基づく「協働契約」のあり方の研究報告書』を作成 ※(2)
- 平成21年12月
 「協働」に関心を寄せるフォーラム参加者などでメーリングリストを発足
- 平成21年冬~
 自主的な勉強会を企画
- 平成22年6月
 (財)こども未来財団児童関連サービス調査研究等事業として「子育て支援事業における行政との協働のあり方研究事業」を受託。「新しい協働を考える会」として研究活動中。



(1)



(2)

←頒価500円
 (送料込みで800円)
 お求めは当日会場か、
 下記申込み先にお問合せ下さい。

主催：新しい協働を考える会

お問合せ：事務担当 横田

m01-yokota@sakurazaurusu.jp

横浜市南区榎町1-1-5 フレア吉原1F

TEL : 045-711-4666 FAX : 045-711-2665

申し込み書

ふりがな
氏名

連絡先

所属

交流会の参加(どちらかに○)

・参加する

・参加しない

メッセージ・質問など